



東大阪市下水道事業における ウォーター P P P 導入可能性調査結果

令和8年6月

東大阪市 上下水道局 下水道部

Contents

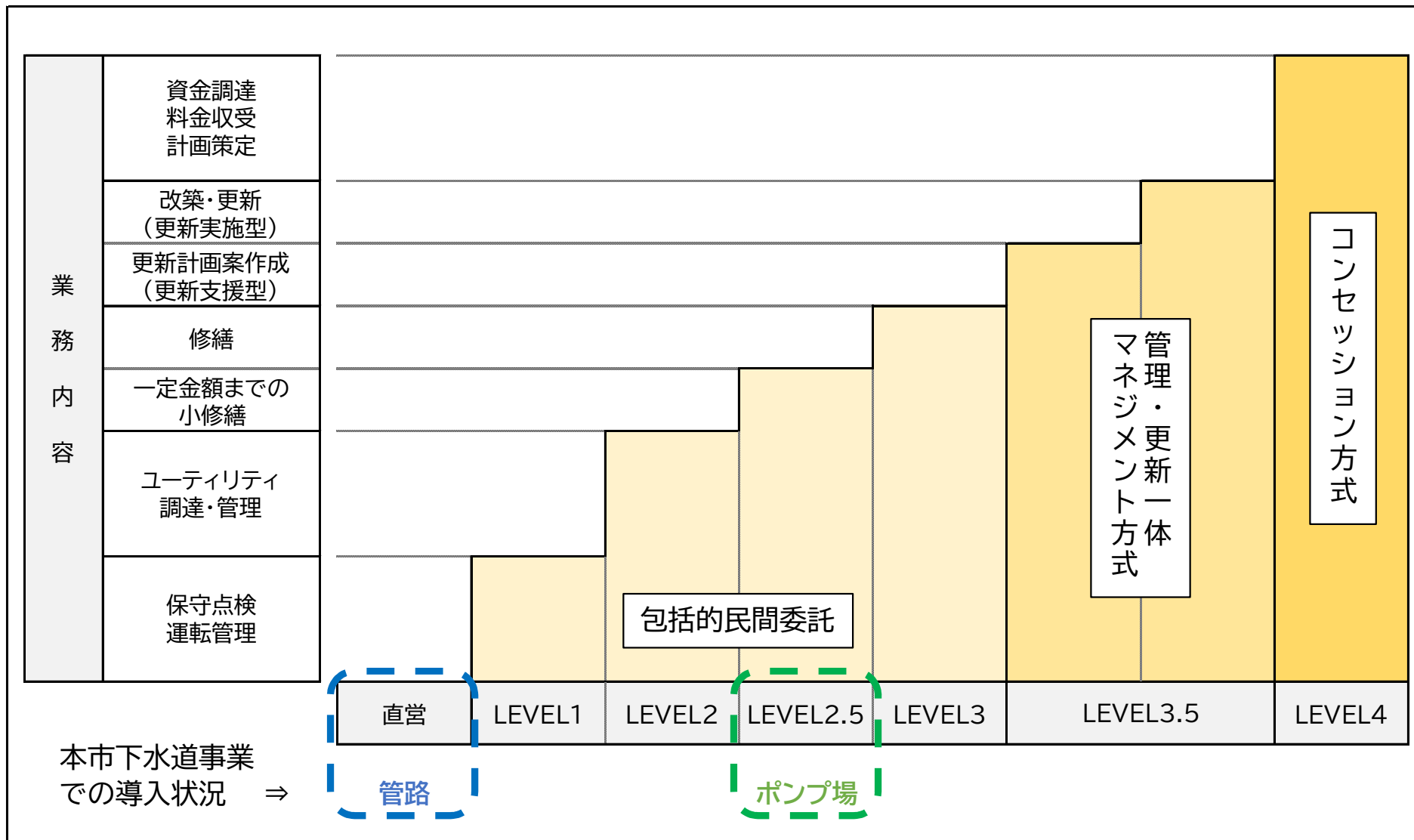
1. 背景・目的
2. 現状分析・課題の整理
3. マーケットサウンディング（市場調査）
4. ウォーターPPP導入の方向性
5. ロードマップ

1. 背景・目的

- ✓ 本調査では、本市下水道事業の現状と将来見通しから、施設・財政・職員・市場調査の観点で総合的に分析し、本市が保有する**管路やポンプ場の施設ごとに最適なPPP／PFI等の導入可能性について検討**することを目的とします。
- 本市下水道事業を取り巻く環境は、人口減少・物価高騰・金利高騰等により事業運営は年々厳しく、使用料収入の安定的な確保が課題となる中で、経営基盤の強化、財政マネジメントの向上、下水道施設の改築・更新と維持管理の最適化が必要不可欠となっています。
- このような中、令和5年6月の「PPP／PFI推進アクションプラン」改定に伴って国土交通省から、**ウォーターPPPの導入決定が令和9年度以降の、汚水管の改築に係る国費支援の要件化とされている**ところです。

1. 背景・目的

本市下水道事業におけるPPP／PFI等の導入状況（ポンプ場施設および管路施設）



2. 現状分析・課題の整理

施設

老朽化施設の急増

(ポンプ場) 現状で保守点検を実施しながら長寿命化を行っているが、約半数の設備が耐用年数を超過している。

(管路) 現状で約250kmの管渠が耐用年数を超過している。

(その他) 一般ポンプ場や水門・ゲート、調整池等の複数施設を管理している。

⇒ **維持管理や工事等の包括的民間委託、複数施設の一体的な管理、長期契約による業務の効率化が必須**

財政

人口減少・使用料減少

人口減少に伴い使用料収入も減少する見通し

⇒ **改築需要も高まるため交付金活用による財政負担の軽減が必須**

職員

高齢化・業務負担増加

技術職員の高齢化や改築需要増に伴い業務負担が増加する見通し

⇒ **将来の下水道事業を適切に執行できる体制の構築が必須**

3. マーケットサウンディング(市場調査)

- ✓ アンケート調査により民間事業者の意向を把握。
- ✓ 包括的民間委託やウォーター P P P 更新支援型から**段階的に導入することが望ましい**とする意見が多かった。
- ✓ 市内企業からは「管路のみでの包括的民間委託が**適当**」とする意見が多かった。
- ✓ ポンプ場施設と管路施設はリスク管理等の観点から**一体化した事業スキームは適さない**とする意見が多かった。

【マーケットサウンディングにおける対象企業数および回答数】

業種	依頼数	回答数	回答率	備考
工事	1,233社	129社	10%	市内 24社、その他 105社
測量・コンサルタント	740社	94社	13%	市内 4社、その他 90社
しゅんせつ	16社	8社	50%	市内 5社、その他 3社
物品・役務	128社	28社	22%	市内 3社、その他 25社
合計	2,117社	259社	12%	市内 36社、その他 223社

4. ウォーターPPP導入の方向性

【事業手法】

- ✓ 管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）更新支援型を導入する方針とする。
- 更新支援型を選択することで、引き続き自治体職員が新規改築更新工事の発注、施工管理等を行うため、**職員の技術力を継続的に確保**できる。

ウォーターPPP			
公共施設等運営事業（コンセッション） [レベル4]	管理・更新一体マネジメント方式 [レベル3.5]		
	長期契約（10～20年）	【更新実施型】	【更新支援型】
	性能発注	長期契約（原則10年）*1	長期契約（原則10年）*1
	維持管理	性能発注*2	性能発注*2
	修繕	維持管理	維持管理
	更新工事	修繕	修繕
	運営権（抵当権設定）	更新工事	更新計画案やインストラクションマネジメント(CM)
	利用料金直接収受		

本市が目指す官民連携事業

*1管理・更新一体マネジメント方式（原則10年）の後、公共施設等運営事業に移行することとする。

*2民間事業者の対象業務の執行方法は、民間事業者が自ら決定し、業務執行に対する責任を負うという本来の「性能発注」を徹底。

管路については、移行措置として、仕様発注から開始し、詳細調査や更新等を実施した箇所から段階的に性能発注に移行していくことも可能。

4. ウォーターPPP導入の方向性

【対象施設】

✓ 「ポンプ場施設関連」のみを対象施設とする。

- ポンプ場施設関連では、既に平成27年度より3年毎の長期契約を包括的に委託しており、包括委託の次段階としてウォーターPPPの導入に適している。
- 民間事業者側としては10年間の長期契約となることから、**技術者の確保と教育訓練の継続**が行えることにより安定した運転管理へと繋げることができる。

対象施設		名称	備考	
①公共ポンプ場	中継ポンプ場 2か所	放出処理区：高井田ポンプ場 平野処理区：岸田堂ポンプ場	下水道事業	
	貯留池ポンプ場 7か所	放出処理区：高井田汚水貯留ポンプ 平野処理区：新岸田堂幹線雨水貯留ポンプ場 川俣処理区：八戸ノ里ポンプ場 八戸ノ里駅前雨水貯留施設 新川俣幹線1号雨水貯留ポンプ場 新川俣幹線2号雨水貯留ポンプ場 宝町調節池(市)		
②一般ポンプ場	一般ポンプ場 13か所	一生涯雨水貯留 大川ポンプ場 十三川ポンプ場 水走三八ポンプ場 石切1号ポンプ場 石切2号ポンプ場 新川ポンプ場 戸堀川雨水貯留 長門川ポンプ場 三井ポンプ場 神田ポンプ場 藤の木川ポンプ場 元町ポンプ場	その他事業	
③マンホールポンプ場	マンホールポンプ場 12か所	川俣処理区：徳庵中州MP場 日下部地区MP場 東石切町地区MP場 上石切町地区1号MP場 五条町地区1号MP場 五条町地区2号MP場 上四条町地区MP場 六万寺町地区MP場 上六万寺町地区1号MP場 上六万寺町地区2号MP場 上六万寺町地区3号MP場 横小路町地区MP場	下水道事業	
	④水門・ゲート	水門・ゲート(下水) 2か所	小阪伏越ゲート 川俣伏越ゲート	下水道事業
		水門・ゲート(その他) 2か所	長瀬川11号水門 長瀬川2号水門	その他事業
⑤流域調整池	流域調整池 7か所	布施駅前調節池 長瀬調節池 中鴻池調節池 八戸の里公園調節池 宝町調節池(府) 松原南調節池 布施公園調節池	その他事業	
⑥鴻池水路	処理水再利用施設 1か所	鴻池水路	下水道事業	

※次年度の発注準備段階で事業範囲を設定する際、対象施設範囲の再整理を予定するため、本調査結果から一部変更となる可能性がある

5. ロードマップ

✓ 令和8年度:発注準備、事業者選定、令和9年度:事業開始



※第I期ウォーターPPP以降については、第I期の事後評価並びに、事業一体化等を総合的に再検討した上で、最適な官民連携手法を選択していく方針とします。